

あなやま

社会福祉法人 信和会

〒407-0263

山梨県韮崎市穴山町 5164

TEL 0551-25-6100

FAX 0551-25-6103

<http://www.sip-shinwakai.jp>

編集責任者 栗原 信



又都省唱歌
たなばたさま

権藤いなよ 竹詞
下総 婉 作曲

一ささの葉 さらさら

のきばにゆれる

お星さま きらきら

きんきん すなご

二どしきの たんざく

わたしが かい

お星さま きらきら

そらから みる

昭和三十三年 山梨県立韮崎高等学校
「あなやま」編集委員会

七夕の花、かすみ草の天の川

相談支援事業への思い

社会福祉法人信和会 理事
相談支援事業所さくら

所長 宮 沢 美 鈴

平成24年度から「障がい福祉サービス」を利用する方個々に「サービス等利用計画」の提出が必要となり、当法人でも地域に役立つ事業運営の一つとして「相談支援事業所さくら」を開所し5年が経過致しました。

当初、相談支援専門員（以下、相談員）のプラン作成を担当する対象者も少ない状態でしたが、我が地域ではセルフプランを除き、制定3年後の平成27年度には全ての方に相談員が付くことを目標として進め、ほぼ達成された今、「さくら」を利用される方も平成29年度末には130名にのびりました。

利用される方が大勢いるのは良いことですが、毎年開かれる「年度末の決算理事会」は私にとって一年の中で最も気が重い一日となるのです。なぜなら、事業の要となる書類（計画書・評価【モニタリング】）を130名の利用者に対して訪問・面談をしながら、ほぼ1日に1件ペースで作成してきたにも関わらず、昨年度の収入は人件費や諸経費を合わせた支出の半分にも至らず、毎年、法人全体で相談支援事業の運営をカバーしている実情を決算報告会では目の当たりにするからです。支出に見合った収入を得るには今の倍以上の利用者を受け入れなければなりません、相談員一人で支える数は遥かに超えてしまいます。

そのような中で厚生労働省から今年度の『障害福祉サービス等に係る報酬改定』が示されました。「相談支援事業」の主軸としては、「質の高い事業者の評価」が提言されています。その中には「モニタリング実施標準期間の見直し」「相談員一人あたりの標準担当件数の設定」「計画相談支援の基本報酬の見直し」「特定事業所加算の見直し」「高い質と専門性を評価する加算の創設」などが上げられ、「頑張っているところには加算がつきますよ」「今までより潤沢な経営につながりますよ」との内容が見て取れる図解も提示されました。

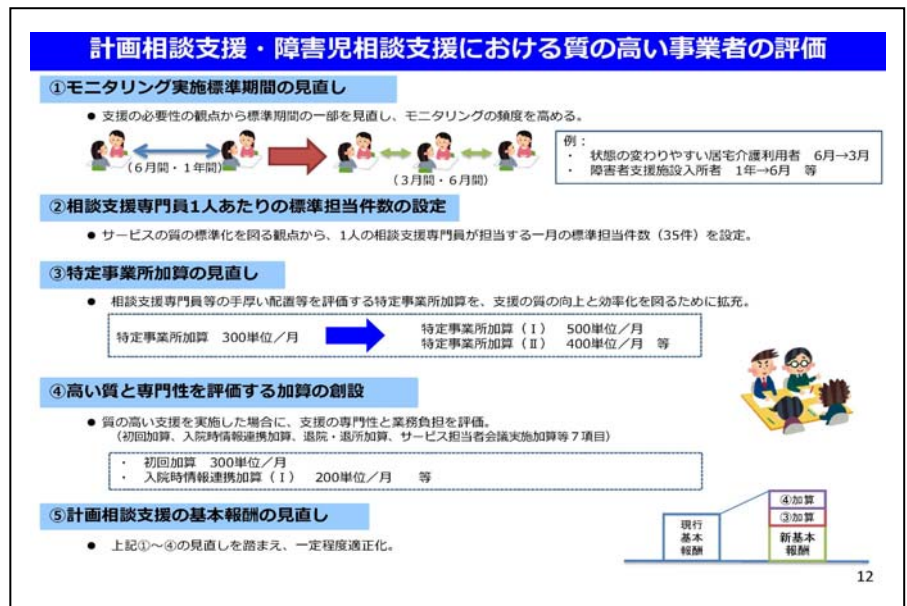
基本報酬は下げますが、創設された加算を利用し、事業としても収入アップを目指しましょうというねらいです。

しかし現実問題として、「モニタリング実施標準期間の見直し」については最終的には市町村の判断に委ねられており、例を挙げれば入所施設の方が今まで1年に1回の評価書類の作成だったのが、国に従って6ヶ月に変更できるかというところではない場合があります。創設された加算も市町村によって判断基準が異なるため、予定していた収入を得ることは出来ません。そして「相談員一人あたりの標準担当件数」「特定事業所加算の見直し」については、多くの件数を持つことで質の担保が問われることは否めない事実です。

我が地域ではなかなか相談員の人数が増えません。相談事業所に至っても然り。それでも利用される方は年々増えて行きます。そうすると担当すべき利用者が標準数を超えることは目に見えており、明らかに減算対象となってしまいます。一人相談員の「さくら」でもこの状況ですので、毎年赤字となる事業に対して手を上げない事業所があるのも理解できます。

相談員の人数を増やす「特定事業所加算」という発想は規模が小さい事業所では到底むずびつきません。この根っこの部分を皆さんにも分かってほしいのです。機関紙の冒頭から苦言となりましたが、これが私の心の中で常に葛藤していたことです。そして今年度も4ヶ月が経過しました。

新規の受け入れについては、しっかりとした土台がないと中途半端な関わりとなってしまいます。私自身が今ある現実をきちんと見極め、「質の良い相談支援事業」と誇れるように頑張っていきたいと思っています。



本部だよ！

社会福祉法人 信和会 法人本部
〒407-0263 韮崎市穴山町 5390
TEL0551-25-6100
E-mail: honbu@sip-shinwakai.jp



理事会・評議員会報告

開催日：＜理事会＞平成30年5月26日（土） ＜評議員会＞平成30年6月9日（土）
開催場所：穴山の杜 集会室
審議事項：第1号議案 定款変更について
第2号議案 平成29年度事業報告について
第3号議案 平成29年度決算報告について
第4号議案 監事監査報告について
第5号議案 諸規定の変更



今回はまず、わ〜く穴山の里新施設と土地の基本財産登録のための定款変更を承認いただきました。事業報告及び決算報告につきましては、各事業所や事務局より詳細な説明を行い、監査報告と合わせて承認されました。その他議案としては、わ〜く穴山の里の就業時間の追加変更を提案し承認されました。別日開催といたしました理事会及び評議員会ですが理事会承認内容を評議員会で確認、承認する形となります。

事業報告及び決算報告時には、評議員の方から「事業内容も利用者第一の取り組みを熱意を持って実行している。」「決算についても収支も安定しており法人運営が円滑に進んでいる。」などのお言葉をいただき、とてもありがたく、これからも奢ることなくしっかりと事業運営を進めてまいりたいと存じます。

法人単位貸借対照表
平成30年 3月31日現在

資 産 の 部				負 債 の 部			
	当年度末	前年度末	増 減		当年度末	前年度末	増 減
流動資産	676,340,483	565,186,921	111,153,562	流動負債	71,326,521	64,086,700	7,239,821
固定資産	1,494,288,348	1,494,016,553	271,795	固定負債	195,503,220	204,515,360	-9,012,140
基本財産	984,704,629	911,204,469	73,500,160	負債の部合計	266,829,741	268,602,060	-1,772,319
その他の固定資産	509,583,719	582,812,084	-73,228,365				
				純 資 産 の 部			
				基本金	226,532,898	226,532,898	
				国庫補助金等特別積立金	331,508,972	352,483,558	-20,974,586
				その他の積立金	112,000,000	209,790,400	-97,790,400
				次期繰越活動増減差額	1,233,757,220	1,001,794,558	231,962,662
				次期繰越活動増減差額 [うち当期繰越増減差額]	1,233,757,220	1,001,794,558	231,962,662
					134,172,262	118,879,153	15,293,109
				純資産の部合計	1,903,799,090	1,790,601,414	113,197,676
資産の部合計	2,170,628,831	2,059,203,474	111,425,357	負債及び純資産の部合計	2,170,628,831	2,059,203,474	111,425,357

法人単位事業活動計算書
(自) 平成29年 4月 1日 (至) 平成30年 3月31日

	当年度決算	前年度決算
サービス活動収益計(1)	822,816,826	772,858,903
サービス活動費用計(2)	680,350,445	648,901,609
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	142,466,381	123,957,294
サービス活動外収益計(4)	4,465,954	6,218,720
サービス活動外費用計(5)	5,762,335	6,024,829
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	-1,296,381	193,891
経常増減差額(7)=(3)+(6)	141,170,000	124,151,185
特別収益計(8)	1,822,000	6,807,675
特別費用計(9)	8,819,738	12,079,707
特別増減差額(10)=(8)-(9)	-6,997,738	-5,272,032
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	134,172,262	118,879,153
前期繰越活動増減差額(12)	1,001,794,558	979,705,805
当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	1,135,966,820	1,098,584,958
基本金取崩額(14)		
その他の積立金取崩額(15)	107,790,400	23,000,000
その他の積立金積立額(16)	10,000,000	119,790,400
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	1,233,757,220	1,001,794,558

法人単位資金収支計算書
(自) 平成29年4月1日 (至) 平成30年3月31日

	決 算
事業活動収入計(1)	826,820,010
事業活動支出計(2)	629,325,592
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	197,494,418
施設整備等収入計(4)	158,068,400
施設整備等支出計(5)	238,539,757
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	-80,471,357
その他の活動による収入計(7)	23,980
その他の活動支出計(8)	13,133,300
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	-13,109,320
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	103,913,741
前期末支払資金残高(12)	525,496,221
当期末支払資金残高(11)+(12)	629,409,962

穴山の里

障害者支援施設 穴山の里
〒407-0263 韮崎市穴山町 5164
Tel 0551-25-5900
E-mail : sato@sip-shinwakai.jp



東社協主催「新任職員研修会」に参加して

6月15・16日に「いこいの村あしがら」（神奈川県足柄郡）において東京都社会福祉協議会知的発達障害部会が主催する平成30年度新任職員研修に参加しました。

研修会のメインテーマは「将来を見据えて今を考える ～本人中心の支援のために～」であり、二日間にわたって「支援者のためのビジネスマナー」、「本人中心の支援」などの各講義やグループワークを通じ利用者さんのとらえ方や、実践的理念と命題的理念との融合等について学びました。

グループワークでは各班に分かれ、「利用者中心の支援とは何か」や「個別支援計画の立て方」など実例をもとに発表を行いました。本人中心で考えているつもりが職員側からの計画になってしまいがちであり、どこまで利用者さんの希望を取り入れるのがとても難しく、今回の研修を通して改めて“支援の難しさ”を学びました。

また、今回の研修会には県内他施設からも参加されており、利用者さんに珈琲豆の選別、ドリンク作りや接客のお手伝いをして頂いている取組み例など様々な情報交換もでき、たいへん有意義なものとなりましたので、今後の支援に活かして参りたいと思います。



支援員 松田久瑠実

園児との交流会

今回、韮崎愛生幼稚園と『ふれあい交流会』を初めて行いました。穴山の杜ホールにて障害物リレーなど各種レクリエーションを楽しみながら行い、最後は里の利用者さんと園児さんとで力をあわせ悪の帝王ザークを倒すことができました。また、ボランティアの更生保護女性会の皆様には運営にご協力をいただき誠にありがとうございました。



蛍と尺八の夕べ

穴山町次第第大賀ハス池にて『蛍と尺八の夕べ』のイベントに参加しました。蛍は残念ながら見えませんでしたが、尺八やケーナの演奏に心が和み、夜ということで一層笛の音が響きわたり幻想的で綺麗でした。利用者さんたちも集中して聴いていました。素敵な演奏ありがとうございました。



レクリエーション大会

5月27日に穴山の里グラウンドにてレクリエーション大会を開催しました。利用者さんやその保護者様と地域の老人クラブの皆さまに参加していただき籠玉入れや障害物競走、パン食い競争等のレクリエーションを紅白2チームに分かれて行いました。勝敗の結果は仲良く引き分け。その後のお弁当は元気に身体を動かしたおかげで美味しく残さず食べることができました。また、当日は天候にも恵まれ終始笑顔が見られ、地域の皆様とも楽しく交流を図ることが出来ました。これからもこのような機会を増やしていければと思います。



桃の袋かけ作業



桃の収穫の時期が近づいてきています。里でも袋掛け作業を職員中心に行いました。ところでなぜ袋掛けをするのかご存知ですか？理由はいくつかありますが、

1. 実を日光や傷から守り劣化を防ぐ
2. 害虫や菌を含んだ雨水の侵入を防ぐ
3. 着色を良くする（袋を破った時に一気に着色を良くするため）

しかし地域や品種によっては袋を掛けないで栽培することもあります。樹の高い所から低い所まで、実一つ一つに袋を掛けて針金で留めるのでなかなか大変な作業ですが、収穫時に赤く大きな美味しい桃になることを期待して頑張りました。

【クラブ紹介】書道クラブ

今年度より月2回第2・4木曜日が活動日となりました。現在利用者さん6名と職員5名計11名が所属しています。活動の目的・目標としては、字の上達、穏やかな時間をもつこと、出展できる良い作品作りが挙げられます。「季節」「自然」「地域」「つながり」をテーマに、半紙に筆で4月は「春・はる」、5月は「山・やま」、6月は「家・家族」に取り組みました。利用者さんそれぞれが個性ある作品を残しています。今後も利用者さんと職員一緒に協力して楽しく行なっていききたいと思います！！



ひまわり班1泊旅行

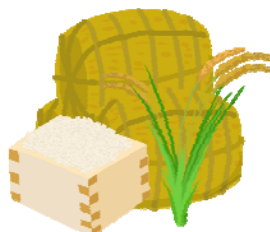


『ひまわり班1泊旅行』で北杜市大泉町にあるセラヴィリゾート泉郷に行ってきた。地域移行に向けての初の試みとしてみんなで自炊を行いました。自分たちでご飯を作る経験が少ないのでとても良い経験になったと思います。一人ひとりが出来る仕事を見つけ穴山の里では普段見られない利用者さんの姿が見られました。自炊をすることによって利用者さんと職員との絆もより一層強まったと思います。戸惑いもありましたが笑顔が多く見られ楽しかったと喜んでいただけました。この経験を活かし自立に向けて今後も支援して参りたいと思います。



J A 梨北明野農業センターお手伝い

穴山の里利用者さんが職員と一緒に J A 梨北の明野農業センター（北杜市明野町）に農作業のお手伝いに週2日ほど行っています。現場ではスタッフさんの指導を受けながら、大きなビニールハウス内で稲の苗箱を並べる作業やお客様に苗を渡す出荷作業などのお手伝いを中心に行っています。ビニールハウス内は暑くてたいへんなときもありますが、センタースタッフさんとも仲良くなり楽しい現場です。また、地域の方々ともコミュニケーションが取れて充実した地域交流が行えています。



発支協スポーツ大会



5月18日に小瀬スポーツ公園（甲府市）にて発達支援協会主催の『障害者交流スポーツ大会』が開催され、穴山の里の利用者さんも参加しました。屋外の補助競技場での競技と体育館の中での競技に分かれて、クイズや障害物競走等、しっかりと身体を動かし、皆楽しんでいる様子でした。また、競技を通じて他の施設の利用者さんや職員さんと仲良くなり、良い交流の場になりました。

穴山の杜

特別養護老人ホーム穴山の杜
〒407-0263 韮崎市穴山町 5390
TEL 0551-25-6100
E-mail : mori@sip-shinwakai.jp



今年の気候は梅雨明けが異常に早く、6月末には梅雨明けになりました。異常気象なのか気になるところですが、長くなる夏の暑さが心配されます。

今年度の4月に3年に一度の介護報酬改定がなされました。大幅な改正点はありませんでしたが、新たに介護ロボット（見守り機器）の活用の推進・導入促進についての変更がありました。入居者の安全の確保、夜勤職員の負担軽減を図ることを目的としての改正ですが、当施設でも入居者の20%にあたる12台の導入を決定しました。この機器はベッドのセンサーが、利用者のベッドからの離床を検知し職員に通報できるシステムで、利用者の見守りに役立つものです。又、利用者の睡眠状態や呼吸状態も検知できますので、異常の早期把握に役立ちます。この導入結果を検証しながら、順次導入を進めて安全、安心な施設運営を目指します。

「いつまでもお元気で」

第三者委員 山寺初代

特別養護ホーム穴山の杜及び穴山の杜短期入所生活介護事業所の第三者委員として、両施設を訪問させていただいて一年余りになります。テキストを片手に、また一緒に活動されている先輩の指導のもと、研修生そのものです。

職員や入居者の皆さまの日常の様子を拝見し、出来事を話し合いながら、何か困っている事はないか、要望はないかと耳を傾けます。何回か伺っているうちに笑顔で迎えてくれる入居者の方もおり、とても嬉しく感動いたします。長く尊い人生経験を持つ皆様には、お疲れ様です、少しのんびりして下さいと声をかけたくります。昼食に皆様と同じ食事をいただき、今までに気付いた事等を話し合います。

緑いっぱいの素晴らしい環境の中、職員の献身的な介護を受けられる利用者の皆様には、心身共に健やかに、穏やかな日々を送られますように心から願っております。

… 10年勤続を迎えた職員に聞きました …

「勤続10年を迎えて」

ユニットリーダー 千葉一樹

この度は、勤続10年にて表彰していただき、誠にありがとうございます。この表彰は、私にとって身に余る光栄であります。また、この10年を振り返る良い機会となりました。

入社以来、多くの人たちと出会いました。上司や先輩諸氏、同輩や後輩の皆さん、ご利用者、またそのご家族、ボランティアの方々。今の自分があるのは、その人たちのお陰だと思っています。

しかし、勤続10年はまだ道半ばです。これからも様々な人たちとの出会いがあると思います。人との出会いを大切に、故きを温ね、新しきを知り、またそれを伝えて行けるよう、頑張っていきたいと思っています。今後ともよろしくお願い申し上げます。ありがとうございました。

「10年を迎えて」

ユニットリーダー 成島 綾

穴山の杜で働き出して、7月で早いもので10年を迎えます。介護を仕事として決めたきっかけと一緒に暮らしていた祖父の存在でした。優しく家族の為に好きな農業に励み、いつも私たち孫の心配ばかりしていた祖父が、私が中学3年生の時に病気で寝たきりとなり、今までの元気な姿とはまるで別人で、私自身が受け入れる事が出来ず、お見舞いに行っても話をする事も、手を握る事すら出来ませんでした。入院して半年ほどで亡くなり、寂しさと何も出来なかったという後悔ばかりが残りました。介護の専門学校へ進み、障害者施設・デイサービスを経て、10年前に穴山の杜に就職を決めました。この10年、楽しい事や嬉しい事ばかりではなく、辛い事や悲しい事も数多く、時には涙を流した事も沢山あり、介護の仕事を辞めたいと思った事も1度や2度ではありませんでした。でもそんな時、支えてくれたのは家族と一緒に働く仲間存在でした。

3年前にはユニットリーダー研修に参加し、ユニットケアの奥深さや一人一人、自宅の延長として穴山の杜で日々の生活を送る事の対応の難しさ、楽しさを実感しています。ユニットで作る味噌汁一つにしても「美味しいよ」と耳にすると、それだけで嬉しさを感じます。1ユニット10人、されど10人。今では一人一人とゆっくり時間を持てる事も多くなり、信頼してくれるご利用者もいます。大変な事、色々と悩む事は日々ありますが、ユニットケア施設として、一步一步職員と力を合わせ穴山の杜がより良く、ご利用者が暮らしやすい場となっていけたらと思います。

私の復興ボランティア

医務 看護師 宮澤節子

東日本大震災当日、わたしは手術室勤務中でした。横揺れ地震がとても長く感じましたが、やがて収まり、手術は再開されました。仕事の帰り際にテレビで見た大津波は、とてもこの世の出来事とは思わず、ただただ呆然としてしまいました。

その3月に三十数年勤めた職場を定年退職し、時間が出来た事もあり、何とか私の看護の力を役立てさせていただきたいと、看護協会、県の医務課に電話をしましたが、どちらも個人のボランティアは募集しておらず、個人で現地へ行くしかないとの返事でした。そこで、一般のボランティアに申し込み、事前説明会で現地にはトイレが無いかもしれないと話があり、出発前日はポカリスエットと蜂蜜だけを摂って参加。この泥出しには2回行かせていただきました。そうこうしているうちに、看護協会より電話が入り、脳梗塞の方が在宅に戻るので協力出来たらと話があり、泊まりで在宅看護ボランティアに3回協力させていただきました。これ等の事は、家族の理解・協力があってこそ出来た事と思います。

数年後「陸前高田視察と仮設の方々を励まそう」の呼びかけにも参加、仮設の方々と料理をしたり、ゲームや花火と楽しい時を過ごしましたが、その帰りに見た一本松の姿や途切れた線路、津波の高さを物語る外壁の泥の汚れ跡…今でも思い出します。

宮城出身の友人が「おじさんの会社が今やっと始動出来たので、このワカメ食べてみて良かったら1袋でも買って欲しい」と話があり、前の職場・現職場の方々に声をかけ、理事長・施設長様方、大勢の人に快く協力していただき、先方に喜んでいただいています。それ以来、春の穴山さくら祭、秋の穴山サンマ祭りと続けて協力いただいております。今後も皆様のご協力をいただき、私なりに復興支援を続けていきたいと思います。どうぞ宜しくお願い致します。



夏号 トピックス



5月8日「アサンブル リバカ」（代表：深沢様を始め9名）が、慰問に来て下さいました。季節の歌や懐メロなどを、素晴らしいハーモニーで披露して下さい、利用者は手拍子や口ずさんで楽しめていました。また、手を握って一緒に歌って下さり、沢山の笑顔が見られた時間でした。



5月9日、6月6日蕪崎市社会福祉協議会に所属の「ロバとうさぎの会」が来設されました。歌や体操、楽しいお話しで、利用者を笑顔にして下さいています。いつも寡黙なあの利用者が一緒に唄ったり、手を挙げたり下げたり、その様子を見てみると、とても嬉しくなります。そんなプレゼントを職員にも下さるボランティア「ロバとうさぎの会」の皆様です。

お楽しみ会

5月23日オカリナ演奏団体のメイプル（代表：長谷部正美様）が慰問に来て下さいました。童謡や昭和歌謡などを披露して下さいました。オカリナの優しい音色も、大勢での演奏で迫力があり、貴重な音楽を堪能させていただきました。



嘔吐物処理研修



5月15日 嘔吐物処理方法の研修を実施しました。新人職員を対象に、必要な装備・用具の使用し、実際に体験してもらいました。ノロウイルスは微量でも感染する為、適切かつ迅速に処理を行い、二次感染防止が重要となります。

みきました



クジャクサボテンの鮮やかで大きな花が咲きました。利用者や来設される方々より「見事だね!」「これは何という花ですか」などの声をいただき、職員も咲く度に嬉しくなります。この花は地域の老人会の会長をされている島津徹雄様が育てたクジャクサボテンで、施設の皆様に観賞して下さいとのご好意で数鉢届けて下さり、玄関などに飾らせていただきました。ありがとうございました!

わ〜く 穴山の里

多機能型事業所 わ〜く穴山の里
〒407-0263 菰崎市穴山町 4433-1
TEL : 0551-25-5866
E-mail : work@sip-shinwakai.jp



菰崎しごと展

菰崎市内の中学生を対象にした職場体験が行われます。
企業説明会に参加させていただき、職員の仕事を説明しました。
障がいを持つ方が仕事をしていることに驚く学生さんも…
やり方や治具（道具）一つで私たちと同じ仕事ができる事。
同じことが出来ている時点でその方の障害は障害ではない事など
お話しさせていただきました
夏の体験実習を楽しみに待っています！！



工賃向上に向けて

就労支援B型事業では、日々提携している企業様から
発注をいただいている仕事に真摯に取り組んでいます。お蔭
様で、昨年度は県の平均より倍程度の工賃を頂くことが出来
ました。品質・納期についてQCサークル的な活動も展開し
て、今後も利用者様の工賃向上に向けて職員一同頑張ります！



女同生活事業所

共同生活事業所（わ〜く穴山の里内）
〒407-0263 菰崎市穴山町 4433-1
TEL : 0551-25-5866



利用者様の高齢化に向けて

グループホームの利用者様も高齢化が進み60歳代以上の方が全体の3割を超える
ようになり、最高齢者は今年で77歳の誕生日を迎えます。

今後のさらなる高齢化を踏まえて、利用者様がより豊かに充実した人生を過ごして
いただけるように、介護保険サービスも含めた生活環境の構築に取り組んでいます。

具体例として介護認定を取得された利用者様には、同一法人内の介護保険サービス
事業所・計画相談事業所、またケアマネージャー様のご協力を仰ぎながら、月に1回
程度ですが、穴山の杜短期入所サービスを受けられるようにいたしました。

障害者の高齢化という喫緊の課題に、今後も向き合ってゆきたいと思います。



BBQ大会を開催しました。

ゴールデンウィークを利用して、グループホーム5施設合同のバーベキュー大
会を行いました。

前日から食材や炭などをたくさん買い集めて準備万端！！

開催当日は好天に恵まれ日焼けしながら美味しいバーベキューをお腹いっ
ぱいに楽しみました。

これからも利用者様に楽しい企画を提供していきたいと思います。



穴山の杜ショート

穴山の杜 短期入所生活介護事業所
〒407-0263 韮崎市穴山町 4410-3
Tel : 0551-25-0800



一 歩 前 進

本田 幸子

短期入所事業所に異動し、はや二年が経ちました。開所当初は利用者数も少なく、ほとんどが自立されている利用者様でしたので「特養に比べたら、少しは楽になるかな・・・」と安易な考えでいる自分もいました。しかし、利用者様の送迎、荷物チェック、入浴介助、部屋の確認など細かい仕事があり、新しい事業所ということで悪戦苦闘の毎日でした。現在も進行中です。

週末には満床の時もあります。毎週定期的に利用される利用者様が、「また顔を見に来たよ、よろしくお願ひしますね」と笑顔で言うので嬉しくなります。以前の私は声掛けが苦手で、積極的に会話をすることができませんでした。どちらかと言うと、事務的で必要な事だけお伝えする感じでした。でも最近は自分から共通の話題を見つけて声掛けをしたり、リハビリ体操をしたり、毎日楽しく笑顔で過ごしています。利用者様の笑顔は作りものでなく、素直な温かい笑顔なので、私も背中を一押しされているようで、それがパワーに繋がります。

施設では毎月サービス向上会議を行っています。問題点や新規提案など職員全員で意見交換し、利用者様が快適で充実した生活を送られ、在宅復帰できるように努めています。利用者様によりよいサービスが提供できるよう、まずは自分の一歩前進を大切にしていきたいと思います。

トピックス

ドライブ



5月22日甲斐市のポピー畑へドライブに行きました。青空と南アルプスの山々を背景に、一面咲き誇る真っ赤なポピーに初夏の訪れを感じました。



よもぎ 饅頭作り



5月24日穴山で摘んだよもぎで饅頭を作りました。「こねるのは男〜!!」

」の声に、男性利用者様が中心となり頑張りました。蒸しあがった饅頭に香りも味も大満足!



クッキー づくり



6月27日クッキー作りをしました。抹茶・ココアの生地にはート・星など型抜きをしました。サクサクとした食感に「美味しい!」と笑顔がこぼれました。



た食感に「美味しい!」と笑顔がこぼれました。



アジサイブローチ

5月21日フェルトを使ってアジサイのブローチを作成しました。好みの色を組み合わせ、オリジナルの花を咲かせました。



歌とマジックショー



5月22日「歌を唄う会」の方々が来所され、コンサートが行われました。一緒に振付けをしながら唱歌や童謡を歌ったり、終始不思議なマジックに歓声が上がりました!!



七夕



短冊に願い事を書き、飾り付けをしました。

感謝 録

(平成30年 3月16日から平成30年6月15日)

～ご寄付を頂きました～ (敬称略)

ありがとうございました。感謝いたします。

今福てる子・木島廣子・古内保明・川崎武志・石澤應彦
細井太満美

～ご協力を頂きました～ (敬称略)

☆ボランティア

阿部光雄 (歌謡)・島津泰子・長坂泰子・島津公子・
細窪房美・嶋津良子・森岡節子・西山千代子・堀井敬子
(歌謡協力)・田中康子 (絵画指導)・足立悦子 (ピアノ演奏)
・千野公洋 (太鼓)・飯野祐子 (習字講師)・吉澤 明・
花形令子・内藤節子・古内保明・ロバとうさぎの会・
アンサンブルリベカ・初花会・松山会・メイプル会・
愛生幼稚園・葦崎スポーツクラブ

訪 問 録

(平成30年 3月16日から平成30年6月15日)

☆教育実習 (敬称略)

◎山梨学院短期大学

久保田華・澤絵梨奈・内藤裕太郎・掛川侑里・
清水彩花

◎聖セシリア女子短期大学

横山希良々・湯口萌々香

◎帝京学園短期大学

吉田 開・若林成瑠・保坂葉希・田中優衣

◎甲斐清和高校

塩谷桃奈・小池莉加

☆体験実習 (敬称略)

◎わかば支援学校

小林夏輝・縄谷優人

◎梨大付属支援学校

中島菜緒

☆刷掃指導 (敬称略)

◎山梨県歯科衛生専門学校



第33回地域ふれあい

夏祭り

今年も暑い夏がやってきます。
恒例となっております社会福祉法人信和会
地域ふれあい夏祭りを開催致します。
楽しいイベント盛りだくさん!!
美味しさ抜群な模擬店も出店致します。
皆さんお誘い合わせの上、ぜひお越しください。

2018年8月5日 日曜日 午後5時～

特養穴山の杜 芝生広場 特設会場

◎ 催 し 物

- ・穴山の里太鼓
- ・各事業所利用者、職員による発表
- ・フラダンス ・ミニコンサート
- ・J a z z ライブ 他

◎ 屋 台 村

- ・キュウリ串
- ・焼きそば
- ・フライドポテト
- ・バザーも同時開催 ※数に限りがございます。
- ・ポン菓子
- ・フランクフルト
- ・各種飲み物

※当日は安全確保のため周辺道路の通行には充分お気をつけ下さい。
※駐車台数には制限がございます。誘導員の指示にご協力をお願い致します。

編集後記

今回の表紙を飾ったかすみ草。白い草が夜空にきらめく小さな銀河のよう。星屑に似ていて、七夕伝説に登場する天の川を思わせるから7月7日はかすみ草の日と定められました。最近、夜空を見上げて星を眺めることが少なくなっている。今日、はるか？今日はゆっくりに七夕のロマンスチックストーリー、夏の三角形を見つけてみて下さい。ささの葉 さくらら (I・Y)

